

令和7年度 大阪府立牧野高等学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時 令和7年11月17日(月) 15:00~16:25

場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室

出席者(敬称略)

委員 松宮 新吾(会長)、有堀 正彦(副会長)、薙井 順子、尾崎 由美、森 隆裕、
富江 則之

校 長 伊藤 義孝

事務局 川村 大作、大道 香央利、中務 正和、清原 一輝

1. 開会

2. 令和7年度学校経営計画の進捗状況について・・・校長より説明

【説明趣旨】

現状の進捗状況については、その指標が12月実施予定の学校経営自己診断の数値や、第2回授業アンケート、及び3年生の進路状況のため未確定のものが多い。現状の実施状況について説明。

3. 令和8年度学校経営計画について・・・校長より説明

【説明趣旨】

令和7年度計画と令和8年度計画の変更点について、中期的目標を主に説明。

【委員からの意見】

- ・中高連携をより一層推進されるとのことで、授業見学を6月に中学校教員が高校の授業を見学させていただいた。今後は、高校の先生方にも中学校の授業を見学いただき、双方の交流を深めていってほしい。

4. 授業アンケートの結果について・・・教頭より説明

【説明趣旨】

令和7年度第1回授業アンケートの結果と令和4年度以降の結果を比較している。令和7年度第1回も平均で3.51であり、好結果となった。

5. 令和10年度入学者選抜について・・・校長より説明

【説明趣旨】

府教委に提出予定にしている令和10年度入試の本校特色枠について説明。

内容について確認いただいたうえで、承認。

6. 職員超過勤務について・・・教頭より説明

【説明趣旨】

令和6年度と令和7年度10月までの超過勤務について、例年と同じように学校行事や部活動主顧問等で多くなっている。前年と比較すると、数時間程度は減少している。

7. その他（国際交流事業について）・・・校長より説明

【説明趣旨】

今年度3月実施予定のオーストラリアでの海外短期留学について説明。

8. 協議

【委員からの意見】

- ・令和10年度入試の学校特色枠の一つで、学力検査英語の点数を2倍にしているのは、英語の学力を重視しているためか。
 - ⇒（事務局より）国際交流を今後積極的に推進するためには、生徒にも英語力が必要であることから、英語の点数を2倍にしている。
- ・令和8年度学校経営計画において、令和7年度にあった「ICT機器を充実させ、授業改善を行っていくという」項目から、「ICT機器の充実」が削除されたが、この経緯を教えていただきたい。
 - ⇒（事務局より）ICT機器充実には限界があり、ICT機器にたよることなく、授業をしっかり行うことが、重要であると考えている。そのうえで、今あるICT機器をどのように活用するかを含めて授業を充実していこうと考えてる。そのため、ICT機器充実を項目からは外した。
- ・職員の超過勤務について、部活動に熱心な教員が月80時間の超過勤務になると思うが、対策について教えていただきたい。
 - ⇒（事務局より）土日の部活動については、活動する時間に特化して勤務いただくようお願いしている。また、毎月実際の超過時間から推計される年間の超過時間を個票として配付し、意識できるような対策を実施している。
- ・通信制、オンライン授業で、生徒へ提供する授業はライブ配信やオンデマンド配信等あると思うが、どのような方法で対応されているのか。
 - ⇒（事務局より）オンライン授業は、校内別室においてライブ配信形式で実施している。学校の時間割に合わせて授業をそのまま配信している。卒業までに、最大36単位で認定することができる。また、通信制は、スクリーニングが必要のため、対象となる生徒の状況によって、学力保障の観点も踏まえ、動画教材やオンデマンド配信を活用することも考えている。

- ・日本語の支援が必要な生徒や合理的な配慮が必要な生徒はそれぞれ何名在籍していますか。
 - ⇒（事務局より）日本語の支援が必要な生徒は0名で、合理的な配慮が必要な生徒は2名。
- ・部活動で、生徒たちの自主練習などを行う時間の安全対策はどうなっているか。
 - ⇒（事務局より）土日の活動については、グラウンド、体育館とも割り当て時間が決まっているため、練習時間外に活動することはない。始業前などに生徒たちが練習する場合は、必ず教員が校内に滞在し、怪我などの緊急時に対応できる体制を整えている。
- ・文部科学省が理系学生を増やすプランを提言し始めているが、牧野高校での理系学部・学科への進学率はどれくらいか。
 - ⇒（事務局より）7クラス中、2クラスが理系志望の生徒。
- ・自転車通勤している途中で、電動アシスト自転車に大きな荷物を載せて立ちこぎして転倒してしまった生徒を見たことがある。重心を高くしないように安全に乗るよう指導していただきたい。
- ・自転車の青切符制度も導入されるので、生徒たちに丁寧に指導してほしい。
- ・生徒が自主的に行動できるようになる学校だと思っている。牧野高校の教育を継続して行ってほしい。
- ・生徒がいきいきと活動している。さまざまな取り組みの中で生徒たちの自立心や自尊心を育てている。授業見学でも生徒と先生の間には暖かい関係性があるように感じた。
- ・カウンセリングマインドを持って生徒を教育していることがよくわかった。
- ・授業見学で、1・2年生は主体的な学びを念頭において授業されていたが、3年生は、受験前であるためか詰め込みで授業していることが多いようだった。今後、受験の形が変化していく中で、3年生でも主体的な学びをより涵養できる授業が展開されるようになってほしい。
- ・授業見学をして、生徒たちにさまざまな問いかけを行っている授業は、活発な活動が行われているようだった。授業アンケートの結果では、数学・理科の結果が比較的低いようだが、この結果が良くなっていけば、もっと良い学校になっていくと思う。
- ・50周年記念式典では、1年生が中心になって運営したように、生徒を主語にして、各種活動を実施しているのが、牧野高校の良いところである。授業でも、生徒が主体的に学ぶ活動をより一層、推進してほしい。

9. 連絡 第3回は1月23日（金）に実施予定。

10. 閉式